

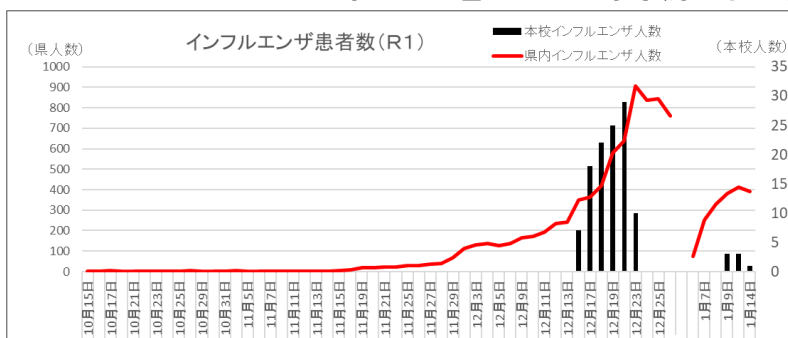


# 保健室だより

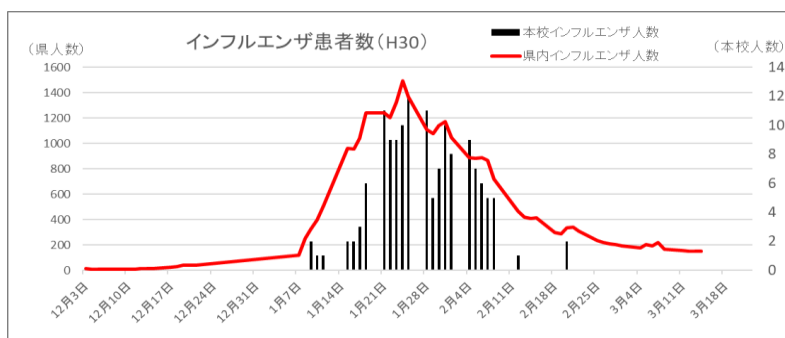
令和2年1月15日(水)  
鳥取湖陵高等学校保健室

## インフルエンザ警報が発令されました

1月9日(木)に3学期がスタートし、本校はインフルエンザで3名の欠席者がありました。鳥取県では1月8日(水)に「インフルエンザ警報」が発令されました。今年度はインフルエンザの流行が早く、2学期に県内でも多くの児童生徒がインフルエンザにかかりましたが、インフルエンザが一番流行するのは例年3学期ですので、インフルエンザにかからないよう各自しっかり予防しましょう。



グラフ1) 本年度インフルエンザり患状況



グラフ2) 昨年度インフルエンザり患状況

左のグラフ1)は、本年度インフルエンザにかかった人数をグラフにしたものです。折れ線グラフは県内児童生徒の人数を、棒グラフは本校生徒の人数を表しています。

下のグラフ2)は、昨年度インフルエンザにかかった人数をグラフにしたものです。

昨年度と比較して大きく異なる点は、本年度インフルエンザの発生が11月下旬からスタートしている点です。

昨年度のピークは1月下旬で、県内で1日1,500人の患者数を数えました。

今後インフルエンザが流行することが予想されます。インフルエンザ警報が発令されましたので、下記の予防対策を各自よろしくお願いします。

【みんなでインフルエンザを防ごう】

- **日頃の予防策で感染経路を断つ**
  - (1) 普段から、栄養と睡眠を十分にとり、体の抵抗力を高める。
  - (2) できるだけ人混みは避ける。人混みに出る時にはマスクを着用する。
  - (3) こまめに手洗いをする。
- **感染したかな・・・と思ったら：マスクを着用し、早めに受診しよう。**

# 学校保健委員会報告

12月19日（木）午後1時30分～3時に、本校会議室で学校保健委員会を開催しました。出席者は学校医・学校歯科医・学校薬剤師、教職員代表（13名）、保護者代表（5名）、保健委員会生徒代表（2名）の計21名で、「家庭での対話について」をテーマに意見交換を行いました。

## <テーマ設定の理由>

12月に全校生徒対象に実施した「生活習慣に関するアンケート」結果から、以下のような本校生徒の課題が見え、課題解決の方法の一つとして家庭での対話が必要ではないかと考えたためです。

## <本校生徒の課題>

- 家庭で家族とほとんど会話がなない生徒は26人（5.2%）
- スマートフォンで他人と知り合ったことがある生徒は280人（59.2%）
- 「インターネットの利用について家庭でのルールがない」生徒は約6割



家庭での対話は、いつ・どこで、どんな声かけをするといいのでしょうか？

### 【意見交換で出た意見】（家庭での対話の参考にしてください）

- ・ 親子で共通の課題があると話がしやすいのではないかな。飼い犬の話、趣味の話、夕飯の話等
- ・ 高校生という年代は注意しても素直に聞き入れない年齢である。時期がくれば分かり合える。
- ・ 家庭の関係性の問題があるのではないかな。生徒だけでなく、話ができない環境にしている保護者の方にも問題があるのではないかな。
- ・ ルールを子どもと一緒に決める。食事の時はスマートフォンを使わない、充電器を1か所にする等。
- ・ 夕飯のメニューの好き嫌い等をきっかけにして、徐々に会話が発展するように。
- ・ スマートフォンをしている時は会話が何も入ってこないため、例えば夕飯の時はスマートフォンを手元に置かないなどのルールを家庭で決めることも大切。
- ・ 将来社会に出た時に会話をする力が必要になる。そのためにも、家庭で対話をするすることで、自分の思い通りにならない時や、人前に出て話をするための会話を学ぶ機会になる。



コミュニケーションの土台となるのは家庭での対話です。もうすぐ社会に出る（進路決定を目前にした）高校生のあなた達にとって、コミュニケーション能力を身に付ける場となるのは家庭での言葉と気持ちのキャッチボールです。相手の気持ちを押し量りながら対話をする技術を身に付けましょう。

保護者のみなさま、スマートフォンの使用ルール等、お子様との対話により家庭におけるルールを決定してください。